科目区分	専門教育科目	科目名	子どもの理解と援助 （実務家教員担当科目）	科目コード	22Y403	担当者	大徳　朋子
対象学生	幼児教育学科 2年生	学期区分	後期	単位数	1	担当形態	単独
		授業形態	演習				
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択
						免許・資格要件	保育士必修

科目の主題	学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
本講義の主題は、「発達心理学」の内容を踏まえたうえで、子どもの発達と学習をどのように援助すべきか、その具体的な方法を身につけることである。	１．「尽心」誠実な人柄と人間力		２．「創造」高度な知性と創造力		３．「実践」明確な意思と実践力	
科目の到達目標	①誠実性・真摯性	②多様性・協働性	③知識・技能	④思考力・表現力・創造力・判断力	⑤主体性・実行力・自立性	⑥就業力・貢献力
１．子どもの発達と学習について理解する						
２．子どもの発達過程に応じた関わり方の必要性を理解する						
３．子どもの育ちや学びを支えるために必要な知識や技能を身につける						
４．	◎	○	○	◎	◎	○
５．						

授業方法	成績評価の方法と割合
スライドを用いた講義を行う。毎授業で事例検討を行い、学生の意見をもとにその解説を行う。	受講態度（30%） 提出物（20%） 定期試験（50%）

課題等への対応	授業外学修時間
毎授業内の演習時に学生へフィードバックする。	予習：8時間　復習：8時間

回数	授業計画	学習課題（予習・復習）
第１回	子どもの発達過程の概要	発達心理学における乳幼児期の復習
第２回	自己主張と自己抑制	発達心理学における乳幼児期の復習
第３回	保育の環境	前回の授業の復習
第４回	子ども集団における経験と育ち	前回の授業の復習
第５回	子どもを理解するということ	前回の授業の復習
第６回	保護者との情報の共有	前回の授業の復習
第７回	特別な配慮を要する子どもの理解とかかわり	前回の授業の復習
第８回	就学への支援を目的とした保育	前回の授業の復習

試験	定期試験を実施する			
教科書	授業資料は教員が準備する。	受講生へのメッセージ	発達心理学の内容を踏まえ、より発展的な内容を扱います。 子どもが何を考え、どのように成長していくのか. . . 保育場面に応じた 関わり方を考えながら学んでいきましょう。	
参考書等	なし	実務経験に関する情報	①経験内容	①幼稚園教諭 ②スクールカウンセラー ③キンダーカウンセラー
			②科目との関連	人間の生涯発達について教授する。